

令和7年度 教育活動に関する職員アンケート【年間結果】

秋田県立ゆり支援学校

◎令和7年12月実施 回答(人):87/87

◎評価:4:十分できている 3:ほぼできている 2:不十分である 1:全くできていない

◎評価上段:人数(人) 評価下段:割合(%)

領域	No.	項目	評価					
			4	3	2	1	無回答	
A 今年度の重点	I	児童生徒が自立する力を育むための教育課程の改善に取り組んでいる。						
	1	職業教育を核とし、学びの連続性を重視した教育課程の改善	20 23%	66 76%	1 1%			
	2	知的障害、発達障害に対応した自立活動の整理と共通理解	15 17%	65 75%	7 8%			
	3	児童生徒の自己指導能力の獲得を支える生徒指導の実践上の視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)を生かした学級経営による学習の基盤づくり	18 17%	68 75%	1 8%			
	4	個々への指導を支える校内協力体制の確立	33 38%	54 62%				
	II	地域との連携による社会参加の基盤づくりを進めている。						
	5	共生社会の基盤づくりを目指した障害理解学習の拡充	33 38%	54 62%				
	6	地域の生涯学習団体等との連携による児童生徒の居場所づくり	21 24%	59 68%	6 7%		1 1%	
	7	地域との連携による福祉避難所としての機能の充実及び児童生徒の防災意識の醸成	24 28%	62 71%	1 1%			
	III	地域等の様々な資源を生かして教育活動を充実させている。						
	8	寄宿舎の機能を生かした多様な生活体験等による生活する力の育成	44 51%	39 45%	4 5%			
	9	地域の人材や資源を取り入れた多様な教育活動の展開	46 53%	40 46%	1 1%			
	B 学校運営	10	管理職は、学校運営の方針を具体的に分かりやすく校外に伝えている。	41 47%	46 53%			
		11	今年度の学校運営の重点や、学部、学年(学級)の指導方針を保護者に分かりやすく伝えている。	18 21%	67 77%	2 2%		
12		「地域と共に歩み、地域で育ち、地域に必要治される学校」を目指し、地域と連携した教育活動を工夫している。	39 45%	47 54%	1 1%			
13		職員同士が連携、協力して教育活動を行い、一人一人が積極的に学校運営に参画している。	8 9%	67 77%	12 14%			
14		児童生徒は学校生活を楽しみ、目標に向かって学習している。	20 23%	67 77%				
15		感染症対策を適切に行いながら、PTA活動や教育活動を工夫して実施している。	41 47%	46 53%				
C 運営組織	16	本校の教育目標や課題の達成に適した運営組織になっている。	20 23%	67 77%				
	17	今年度の重点事項を達成するために、学部・寄宿舎、分掌が機能している。	19 22%	65 75%	2 2%		1 1%	
	18	学部や分掌等において職員は適材適所に配置され、業務は、適切に分担されている。	7 8%	64 74%	16 18%			
	19	職員一人一人が意識して、業務の効率化を図っている。	7 8%	72 83%	8 9%			

D 学習指導	20	特別支援教育の専門性に基づいた授業や教育活動を行っている。	16	67	4		
			18%	77%	5%		
	21	児童生徒の特性や発達段階を理解して個に応じた指導を行っている。	18	62	7		
			21%	71%	8%		
22	教育課程や学習内容、指導方法は児童生徒一人一人のニーズに合っている。	13	69	5			
		15%	80%	6%			
23	「個別の指導計画」「未来へのスケッチ」について保護者や本人に丁寧に説明し、効果的な指導を行っている。	18	60	9			
		21%	69%	10%			
E 生活指導	24	寄宿舎では、児童生徒の実態に応じた生活指導を行っている。	38	47	2		
			44%	54%	2%		
25	学校と寄宿舎は児童生徒の情報を共有し、連携して指導を行っている。	29	58				
		33%	67%				
F 生徒指導	26	児童生徒の悩みや希望を理解し、適切で丁寧な対応をしている。	12	74	1		
			14%	85%	1%		
27	児童生徒の人権を重んじ、個々の良さや可能性を伸ばす指導をしている。	18	66	3			
		21%	76%	3%			
G 進路指導	28	保護者や本人とよく話し合い、児童生徒に合った進路指導を行っている。	18	66	3		
			21%	76%	3%		
	29	卒業後を見据えた社会参加や自立に必要な力を育てている。	14	69	4		
			16%	79%	5%		
30	進路について、保護者や本人に必要な情報を提供している。	19	66	2			
		22%	76%	2%			
H 行事・部活	31	学校行事や学部行事においては、個々の目標を明確にして児童生徒の成長につながる指導を行っている。	29	57	1		
			33%	66%	1%		
	32	行事や校外学習の回数や内容、経費について、適切に計画・実施している。	36	51			
33	部活動の回数や内容は適切で、健全な心身の育成や生涯学習につながる指導を行っている。	41%	59%				
		33	53	1			
34	交流及び共同学習、障害理解授業を計画的に行い、地域の障害理解や障害者理解を推進している。	38%	61%	1%			
		35	52				
I 地域と連携した支援	35	「個別の教育支援計画」について保護者に丁寧に説明し、これを活用して校内外の関係機関と連携して個に応じた支援を行っている。	40%	60%			
			18	68			1
	21%	78%			1%		
36	地域のニーズに対応した支援を行い、センター的機能を果たしている。	31	56				
		36%	64%				
J 研修	37	職員及び学校の専門性の向上を目指し、計画的に研修を推進している	23	62	1		1
			26%	71%	1%		1%
38	職員一人一人が研修に励み、自己の指導力の向上に努めている。	11	74	2			
		13%	85%	2%			
K 安全管理	39	学校は、安全点検や安全管理(事故防止対策、緊急体制、個人情報の管理など)を適切に行い、安心して学習できる環境を整えている。	24	59	4		
			28%	68%	4%		
	40	避難訓練や防災研修等を計画的に行い、全校職員が災害等の危機に的確に対応できるようにしている。	40	47			
			46%	54%			
	41	保護者、契約業者、学校が運行規則や児童生徒の情報等を共有し、スクールバスを安全に運行している。	25	59	3		
29%			68%	3%			
42	感染症の予防に努めている。	36	51				
43	学校給食は栄養面に留意し、メニューを工夫して食育を進めている。	41%	59%				
		71	16				
82%	18%						
L その他	44	職員は綱紀の保持に努め、保護者や地域住民等の信頼を得ている。	27	60			
			31%	69%			
	45	会計簿などの諸表簿や簿冊の管理が適切になされている。	48	39			
55%			45%				
46	PTA活動や面談などを通して、保護者と職員が協力して教育活動に取り組んでいる。	34	52	1			
		39%	60%	1%			